

2010年2月15日

高額医療機器、日本の保有突出 「医療費膨張の一因」指摘も

高額医療機器の保有割合は日本が断トツで世界一。厚生労働省などの統計によると、人口100万人当たりのコンピューター断層撮影装置（CT）の日本の設置台数は96.1台と米国（34.3台）やドイツ（16.3台）などを上回った。日本は中小病院などが患者を集めるため、競って高額機器を導入しており、医療費が膨張する一因との指摘もある。

厚労省の「医療施設調査・病院報告の概況」と経済協力開発機構（OECD）の資料で、28カ国を比べた。日本は2008年10月時点、他国は07年ベース。

以上